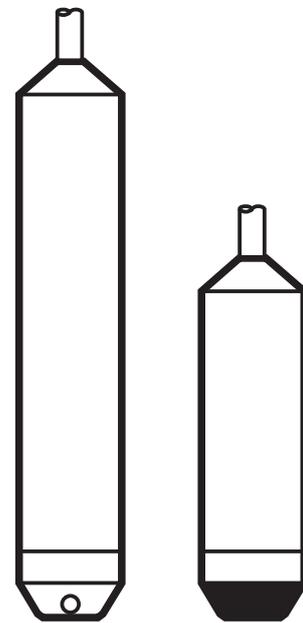


CE

取扱説明書
水中型圧カトランスミッター

JP

PS3xxx
PS3xxA
PS4xxx



ifm efector株式会社

本社 〒261-7118 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1

WBG マリブウエスト 18F

サービスセンター: ☎012 0-78-2070

E-mail: info.jp@ifm.com

Website: www.ifm.com/jp

営業所: 東京・名古屋・大阪・広島・九州

2017/06

14014571.05

目次

1 はじめに (注意)	2
1.1 標記の説明.....	2
2 安全の為の注意.....	2
3 製品とアクセサリ	3
4 機能と特徴.....	4
5 取付方法	4
5.1 取付け場所の要件 (PS3xxA).....	5
6 接続方法	5
7 メンテナンス、修理、廃棄.....	6
8 外形寸法図.....	6
9 技術データ.....	6

1 はじめに (注意)

1.1 標記の説明

- ▶ 操作指示
- > 操作による反応、結果
- 参照



重要注意事項

誤動作や障害の原因になりますので、ご注意ください。



情報

補足注意事項

2 安全の為の注意

- 製品を取扱う前に製品説明をよく読み、製品の使用の全期間中、この取扱説明書を保管してください。
- 所定の目的にのみ使用してください。(→ 機能と特徴)
- 決められた媒体にのみ使用してください。(→ 技術データ)

- 使用上の注意や技術的な説明を無視した場合、物的および人的損害をもたらす恐れがあります。
- 製品の不正改造、またはユーザーによる誤った使用により引き起こされる結果について、当社はいかなる場合でも責任を負いません。
- センサーの設置、電氣的接続、設定、操作およびメンテナンスは知識を持った専門の方が行ってください。
- センサーおよびケーブルを損傷から保護してください。
- 指定された最大許容範囲（→技術データ）を超える静的および動的圧力を絶対に加えないでください。
- 許容圧を超える圧力（→技術データ）を加えないでください。破壊圧を超える圧力が瞬間的に加わった場合でも、センサーは損傷する恐れがありますので、ご注意ください。
 <注意> 事故につながる恐れがあります。
- 水中型圧カトランスミッター PX3xxA：危険場所での安全な使用についての注意事項に従ってください。（→ATEX 取扱説明書）

3 製品とアクセサリ

測定範囲およびケーブル長については、該当の水中型圧カトランスミッターのデータシートをご参照ください。

水中型圧カトランスミッターPS3xxAは、危険場所で使用することを承認されています。（日本国内の検定は受けていません。）

以下の部品はアクセサリとして使用することができます。（別売品）

	コード番号
水中型トランスミッターをタンクに取付けるためのケーブルクランプ金具*	E30399
キャピラリーチューブに取付けるフィルター素子*	E30400
電気接続のためのスプリッターボックス（プラスチック）*	E30401
トランスミッターの追加の錘（おもり：ステンレス）	E30402

*注意：危険場所以外でのみ使用

4 機能と特徴

このトランスミッターは、静水圧力を検出して、アナログ信号を出力します。出力信号はタンクのレベルに比例して変化します。

アプリケーション

- 液体
- タンク、コンテナ、井戸、流水、掘削、排水プラント



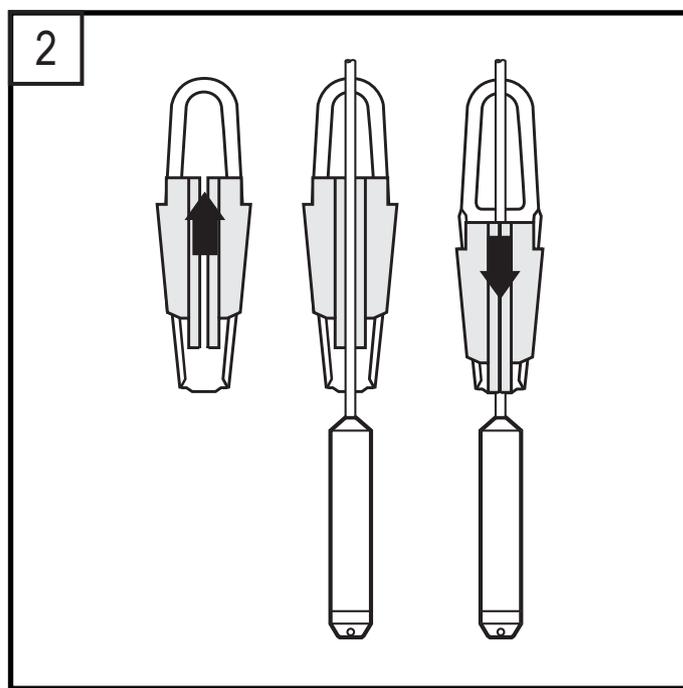
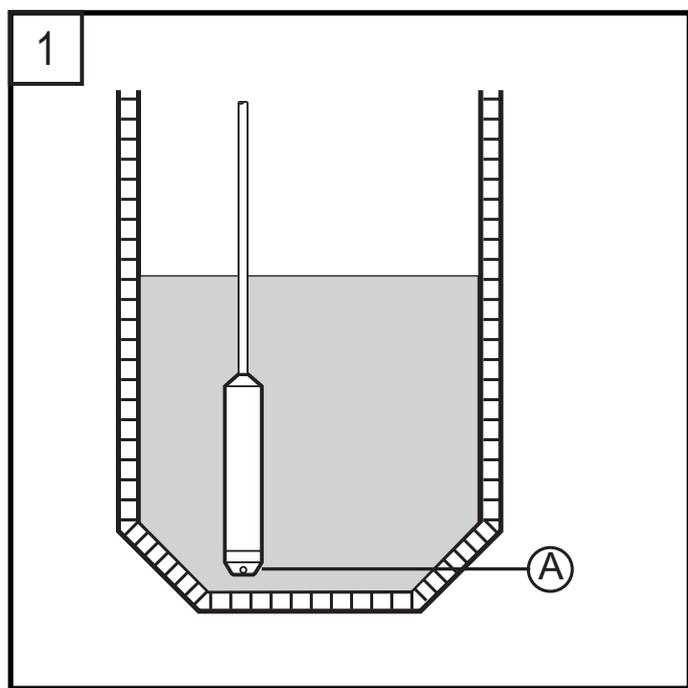
圧力機器指令 (PED) :

センサーは圧力機器指令に適合して、健全なエンジニアリングの実践に基づいた液体グループ2用に設計および製造されています。

液体グループ1用は、ご相談ください。

5 取付方法

- ▶ トランスミッターをできる限りタンクの底に近づけるようにして (→ 図1)、ケーブルクランプ金具で固定してください。 (→ 図2)



- ▶ 粘着性の媒体の場合：保護キャップ (A) のネジを緩めて外してください。

- ▶ トランスミッターの周期的な振動を抑制する場合：保護キャップ (A) のネジを緩めて外し、追加の錘 (おもり) をネジ止めしてください。

(コードNo. E30402)

トランスミッターはゲージ圧です。

圧力調整は接続ケーブル内のキャピラリーチューブで行います。

- ▶ キャピラリーチューブに水や湿気等が入らないように注意してください。
フィルター素子 (コードNo. E30400)、または電気配線用にスプリッターボックス (コードNo. E30401) を使用することができます。

! 水や湿気がキャピラリーチューブを通してセンサーに浸入すると、センサーが損傷しますので、フィルター素子や電気配線用のスプリッターボックスを使用してください。

! フィルター素子と電気配線用のスプリッターボックスは、危険場所以外で使用してください。

JP

5.1 取付け場所の要件 (PS3xxA)

周波数範囲 < 2.7 GHz の強い電磁場により、測定誤差が増加 (最高でスパンの1%) することがあります。強い電磁妨害源 (トランスミッター、無線機器など) の近くには設置しないでください。または、必要に応じてシース電流フィルターをご使用ください。

6 接続方法

! 配線の接続は、電気的な知識を持っている人が行ってください。
電子機器の取付けは、国内または海外の規格に従ってください。
供給電源 : EN 50178、SELV、PELV
水中型圧カトランスミッターPX3xxAを危険場所を使用する場合、本質的に安全な絶縁電源を使用してください。(Ex ia)

- ▶ 取付けおよび配線は、必ず電源を切ってから行ってください。
- ▶ 配線は下記を参照してください。

PS3xxA / PS4xxx		PS3xxx	
芯線色		芯線色	
BN	茶	BN	茶
GN	緑	WH	白
①アース (外装に接続)		GY	灰 (スクリーン)

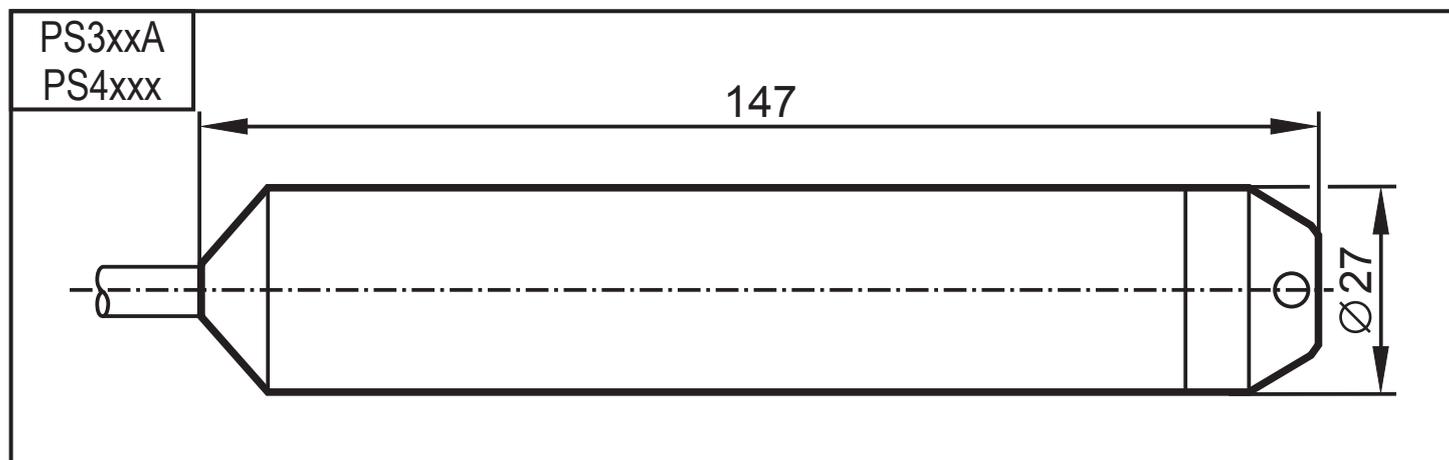
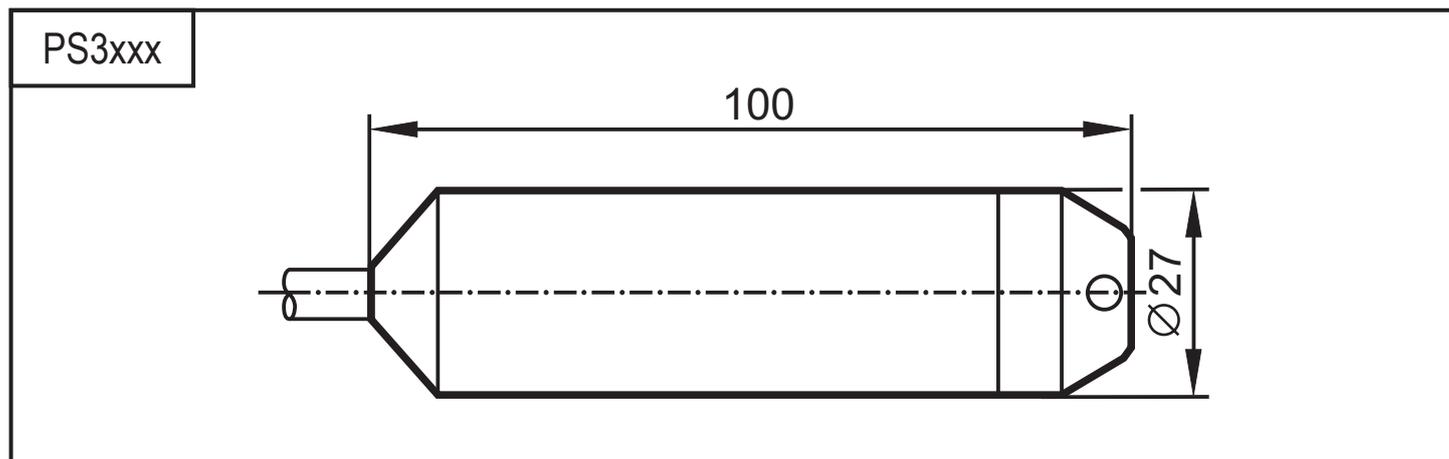
7 メンテナンス、修理、廃棄

正しい使用の場合は、メンテナンスや修理は必要ありません。

製造者だけが修理することができます。

使用済みのセンサーは産業廃棄物として処理してください。

8 外形寸法図



9 技術データ

測定範囲、許容圧力、破壊圧力については、該当の水中型圧カトランスミッターのデータシートをご参照ください。



この製品は人体の保護を目的とした
安全回路に組込む事はできません。

- トランスミッターセンサーのセンシング部 (ダイヤフラム) を手で触ったり、固い物で押したりしないでください。
- 測定媒体によってはセンサーの接液部を腐食させる恐れがありますので、耐性を確認の上ご使用ください。
- 使用環境は所定の条件 (例えば温度等) を守ってください。
- 薬品のかかる所では原則として使用しないでください。使用する場合は前もってテストし、確認の上ご使用ください。
- センサーに荷重をかけないでください。
- コネクタ付きケーブルを接続する際は手でしっかりと締め、工具(プライヤー)等は絶対に使用しないでください。
- 使用済みのセンサーは産業用廃棄物として処理してください。
- 日本国内では、計量法により SI 単位以外使用できません。

JP

技術データ、その他の情報については下記も併せてご参照ください。

www.ifm.com → Data sheet direct:

お断りなく仕様等記載事項を変更することがありますのでご了承ください。